

# シェルボーン・ムーブメント療法

乳幼児から高齢者まで  
床さえあればパートナーと  
楽しく実践できます

## 入門コース 前期・後期

前期 令和元年 7月27日(土)

後期 令和2年 2月22日(土)・23日(日)



会場 子ども発達支援センター・さんだ  
(兵庫県三田市井ノ草808)

受講料 前期・後期合わせて  
24,840円(税込)

(旧入門コース受講済の方は  
後期コースのみの受講料；14,040円)

## シェルボーン・ムーブメント療法

ヴェロニカ・シェルボーンによって創案され、1960年代後半からヨーロッパ各地やカナダ、台湾などで特別な配慮を必要とする子どもたち(重症心身障害・知的障害・発達障害・視力障害・聴力障害)のみならず、乳児から高齢者まで幅広い対象者に用いられているセラピーです。1993年に当財団が日本に紹介して以来、日本でも多くの幼稚園、保育所、通園施設、学校、成人の施設等で用いられています。

ヴェロニカ・シェルボーン (1912-1989)



イギリスの大学で体育と理学療法を学び、後に舞踏家ルドルフ・ラバンに師事する。その後30年以上にわたり、学校や施設などいろいろな場で様々なニーズのある子どもや成人に対し、教育者、訓練士、学生、保護者と共にラバンの理論を適応させながら支援し、独自のアプローチを発展させる。



**目的** 子どもが発達していくうえでとても重要な自分自身の身体認識、自分の置かれた空間や周囲の環境への認識、他者と関わる能力といった脳の発達を促す運動療法です。物の操作性の発達、対人関係の発達、ことばの発達の援助にもなり、大人においては自己にくつろぎと自信を感じさせ、日々の生活に心地よさをもたらします。

**方法** 1人あるいはペアで、またはグループでさまざまな身体運動—感覚経験を積みみます。

**道具** 特別な訓練用具を必要としないため、現場で容易にご活用いただけます。

## 講師紹介

**前期コース 衣本 真理子 (きぬもと まりこ)**  
関西学院大学社会学部卒業後、公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団に入職。聴覚言語療法の中にシェルボーン・ムーブメントを取り入れ、さまざまな障害のある子どもの言語発達の支援を行っている。国際シェルボーン協会認定インストラクター。現在子ども発達支援センター長。言語聴覚士。

**後期コース 平井 真由美 (ひらい まゆみ)**  
神戸女学院大学児童学科卒業。公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団勤務を経て、平成10年より社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会「かるがも園」に勤務し、施設長を経て、現在参事。37年にわたりさまざまな障害のある子どもたちの療育に携わっている。国際シェルボーン協会認定インストラクター。

主催 : 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団  
後援 : 日本シェルボーン・ムーブメント協会